



道木 英之様を偲んで

中尾 眞

E-167

発行日
2023.1.18

皆様には既にお報せしておりますが、永年会員であられた道木英之様が昨年7月にお亡くなりになりました。道木様は東洋エンジニアリング(株)出身で、2001年に入会され、設立間もないSCE・Netの活動に積極的に参加して戴き、交流会のまとめ役として会の発展に大きな貢献をして戴きました。謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

小生とは年代も違いそれほど知己が有った訳ではありませんが、温厚な人柄で教育講座や技術懇談会でお逢いするたびに、笑顔で話しかけて戴いたことは覚えております。また、名古屋大学陸上競技部OB会の世話も引き受けておられ、後輩の鈴木亜由子選手（東京オリンピックマラソン代表）が活躍されることを喜んでおられたことを覚えております。

追悼文はもっと近い方にお願いするつもりでしたが、時宜を逸してしまいました。何か足跡を残したいと思い、2020年に刊行したSCE・Net 20年史に投稿して戴いた道木様の文章をお借りしながら、在りし日を偲ぶことに致しました。

にこやかなお顔を思い出しつつ、合掌。

交流会の思い出（SCE・Net 20年史より抜粋）

道木 英之

始めに

月日の経つのは本当に早いもので私は間もなく80の大台になろうとしています。日本のような超高齢化社会ではまだまだ若造に見られておりますが、体の至る所で老化現象を痛感しているこの頃です。私が定年退職後、暫くして化学工学を専門とする技術者が集まり高齢化社会の時代をいかに生きるかを中心テーマとして技術集団（SCE・Net）が2000年に立ち上がりました。

創設期を過ぎ2006年に入りSCE・Netの活性化策について会員によるアンケート調査が行われました。その結果、新規研究会の立ち上げや組織運営等に関して、情報発信や知的情報に接する交流の場を広げていきたいという皆さんからの強い要望がありました。その時点ですでに技術懇談会や各部会による見学会などは実施されていましたが、会員全体としての「交流の場」を設けることが決められ、私が幹事役を担当することになりました。

.....

終わりに

6年間に亘り担当させて頂きましたが、ほぼ企画・計画通りに見学会等を進めることが出来たことはとても良かったと思っております。今回、執筆に当たり昔のことをなかなか思い出せなくて苦労しましたが、皆さん方にお願ひした見学記等を参照してまとめてみました。担当した期間は長いように感じておりましたが、今思い出すと短い時間を感じられとても懐かしく楽しい思い出として心に残っております。

皆さん方のご協力により無事に役割を終えたことに感謝致します。

見学会の写真



國長金属（株）日立山根工場（2010/4/7）



合同資源産業千葉事業所（2010/11/9）



千葉大学園芸学研究科（2012/3/30）



東北被災地宮城県三陸町（2012/7/26）



千葉大学西千葉（2013/3/27）



国会議事堂見学（2011/3/27）